

# 泌尿器科紀要

第 3 卷 第 12 号

昭和 32 年 12 月

---

随想 学会のありかたについて.....大村 順一...719

結核性尿管狭窄に由来した水腎或は結核性膿腎に対する皮膚尿管瘻或は腎瘻術の效果に就て  
.....榎原 憲章・鳩野 長敬・松本 俊二・小林 勉...721

我が教室最近10ヶ年間に於ける尿路石症について  
.....荒川 忠徳・伊藤 勇・西村 栄雄...733

膀胱類皮嚢胞について.....片村 永樹・足立 明...742

前立腺症における尿道膀胱像管見  
附 60%ウログラフィン使用成績.....田村 誠一郎...752

ネトリンの泌尿器科的応用.....後藤 薫・山崎 巖...765

編集後記・購読要項・投稿内規.....770

第3巻 総目次・索引

---

Effects of Cutaneous Ureterostomy or Nephrostomy for the Hydro- or  
Pyonephrosis due to the Tuberculous Stricture of the Ureter.  
.....K. Narahara, C. Hatano, S. Matumoto and T. Kobayashi ...721

Urolithiasis in Our Clinic During the Last 10 Years.  
.....Y. Arakawa, I. Ito and H. Nishimura...733

Dermoid Cyst of Bladder : Two Cases Report and a Review of  
Japanese Literature. .... E. Katamura and A. Adati...742

Urethrocytograms in Prostatism (Results of Sixty Percent Urografin).  
.....S. Tamura...752

Use of Netrin in Urology.....K. Goto and I. Yamasaki...765

Index.

京都大学医学部泌尿器科教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,  
Kyoto University, Japan.

Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌尿紀要  
Acta Urol.

## 編 集 後 記

日本不妊学会関西支部第8回集談会は昭和33年1月25日(土)午後2時より京都駅前ステーションホテルにて開かれる。演題は1月10日締切にて当番京大泌尿器科稲田教授宛てに申込みたい。



去る10月12日と13日に皮膚科と泌尿器科の東部地方会が群馬大学山崎教授会長の下に行われた。会場が伊香保であり、大学所在地の前橋市とはやや距離があるので準備、その他の点でなかなか手数がかかったことと察するが、その代りに風光明媚な温泉地であり折からの秋晴でもあったので会員一同は極めて楽しい学会気分を味わうことが出来た。泌尿器科特別講演の土屋博士の「前立腺剔除術に関する2, 3の問題」は多年の経験と先端を行く研究とによって教えられるところ甚だ多いものであった。また渋沢教授の「人工腎臓について」の講演は斯界の第一人者として内容極めて豊富なものであった。その他一般演説はいずれも真摯な努力的な斬新なものであり、この学会の真価を示すものであった。



学会からの榛名湖観光バスに乗る。伊香保は山の中腹にあり、そこから延々たる登山バス道路によって山上の火口湖たる榛名湖へ行くのである。登るにつれて景は展げ、薄紅葉が濃紅葉となつてゆく。

濃き紅葉薄き紅葉の夫婦嶽  
紅葉山いくつもありて榛名湖へ

湖に到着して休息、散策する。日和がよくボートがたくさん出ている。

榛名湖の秋深みゆく舟遊び  
水辺まで吹かれてゆきし落葉かな

湖辺に立つて眺めると榛名富士を中心にして様々の形の山が湖をとり囲んで、濃淡の紅葉を見せている。馬子がしきりに馬を罵める。学会の誰彼の乗馬姿も見える。

榛名湖のみぎわに秋の空仰ぐ  
岩山のいただきに燃ゆ濃紅葉

帰路につく頃はさすがに秋冷を覚える。来る時に見た山々をもう一度なつかしく見送る。

いただきに夕霧かかる紅葉山  
馬並めて帰りゆく馬子芒原

宿に帰つて温泉に浸る。宿からの眺めは雄大を極めてい。殊に早朝のそれが見事である。この二泊三日間は宿の人めずらしいよい日和であつたと言う。

三日目も秋日和なるいでゆ宿

## 購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間料金 1,000円を前納する。1冊料金100円、払込みは振替口座番号京都 4772番泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 人会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

## 投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること、附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 年次。  
例. 中野: 泌尿紀要, 1: 110, 昭30. Lazarus, J. A. J. Urol., 45: 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈。それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行うが希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部